

経営学部 リフレクションペーパー

(2009年度前期授業アンケート結果に基づいて)

教員氏名 [大内 秀二郎]

1. 授業担当科目名

商学A (商業パート)

流通システム論 I ※水曜 1 限・木曜 6 限の 2 クラス開講

流通企業戦略論 I ※火曜 6 限・金曜 4 限の 2 クラス開講

2. アンケート結果に対する感想

10段階評価に関して、流通システム論 I については8.7~8.8 (2008年度と比較して+0.1~0.9)、流通企業戦略論 I については8.8~9.0 (同+0.6~0.8) と、非常に高い評価が得られた。昨年度の学生からのコメントを踏まえ、レジュメのレイアウト (記入のための余白の大きさ等) を改めるとともに板書にもこれまで以上に気を遣い、レジュメに書き込みをしやすい講義の実現を図ったことが奏功したものと考えられる。一方、1年生対象の商学Aに関しては7.8 (同-1.0) であり、ほぼ全科目平均と同程度の評価にとどまった。高い評価を得られた昨年度の実績を踏まえ講義形式や内容などは敢えて全く同様のものとしたにも関わらず、これほどまでに大きく評価を下げたことは、不本意かつ若干不可解な結果であった。ただ、高評価に甘んじ改善の努力を怠ったことは否定できず、その点に関しては反省している。個別の質問項目に関しては、どの科目においても「教員はクラスの勉学の雰囲気を保つように努めていましたか」に対する評価が相対的に低く、また自由記述においても「私語に対する注意をもっとしてほしい」という趣旨のコメントが多くみられた。

3. 来年度改善したいと思う点

講義中の私語に対する不満は相変わらず多いので、より一層静粛な講義環境の維持に努める。また印象では、私語が特に増えるのは学生が講義の内容に興味がない時または内容を全く理解できない時である。私語に対する特別な注意をしなくても学生が講義に集中している時もある。今後は、「学生の興味を喚起し理解を促す」講義の実現により私語が自然に減少する状態を理想としたい。商学Aについては、専門基礎科目としての位置づけをより明確にするかたちで、講義内容・レジュメともに全面的に見直しを図りたい。